# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

```
ANSWER 1 OF 1 WPIDS COPYRIGHT 2001
L1
                                             DERWENT INFORMATION LTD
       ***1978-80809A***
ΑN
                            [45]
                                   WPIDS
TI
     1-Methyl-adamantane prodn. - by isomerising 1-methyl-tri
     cyclo(5.2.1.0-4,10) decane in presence of acid catalysts.
DC
     B05 E15
PA
     (KAOS) KAO SOAP CO LTD
CYC
PΙ
     JP 53112859
                   Α
                       19781002 (197845) *
PRAI JP 1977-26759
                       19770310
     C07C013-54
IC
     JP 53112859 A UPAB: 19930901
AB
     1-Methyladamantane of formula (II) is produced by isomerising
     1-methylperhydrotri-quinacene (1-methyltricyclo /5.2.1.04,10/de
cene) of
     formula (I) in the presence of acid catalysts (e.g. aluminium c
hloride).
          The amts. of the catalysts used are 0.01-1000 moles to 1 \ensuremath{\text{m}}
ole of the
     cpd. of Formula (I). Use of solvents such as aliphatic, alicyc
     aromatic hydrocarbons and halogenated hydrocarbons in amts. of
0.1-1000
     times the wt. of the cpd. of Formula (I) is recommended in orde
r to
     diffuse the reaction heat generated efficiently.
FS
     CPI
FΑ
     AB
MC
     CPI: B09-D01; E09-D01; N01-C
```

#### 19日本国特許庁

開公園出稿辞回

### 公開特許公報

昭53-113024

(DInt. CL<sup>2</sup> A 01 N 9/12 C 07 D 285/00 識別記号

毎日本分類 庁内整理番号
 30 F 371.221 6516-49
 30 F 922 7162-49
 30 F 91 6712-49
 16 E 391 7169-44

❸公開 昭和53年(1978)10月3日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 7 頁)

図1、2、4−ジチアゾール誘導体からなる殺 虫殺ダニ及び農園芸用殺菌剤

到特 顧 昭52—27824

②出 頤 昭52(1977)3月14日

@発 明 者 岩港功

小田原市前川443

[ii]

渋谷雅己

小田原市国府津2757

同 安藤盟機

神奈川県中郡大磯町東小磯952

仍発明者 松田透彦

神奈川県中郡大磯町大磯97

同 中田昭

平塚市菓平9-21

①出 願 人 日本曹達株式会社

東京都千代田区大手町2丁目2

番1号

**19代型 人 弁理士 伊藤晴之** 

外1名

4#

**A** 

1. 岩明の名称

1, 2, 4 - シテ丁プール特半体からなる最虫

**经**罗二及び是国 袋用教育剂

2. 帯野請求の範囲

(1) 一位式

(式中、B)はアンキル差、フェニル系、ペンジル表又はヘロゲン原子、フェニル高光しくは係続アルキル満で産祭されたフェニルがを、 B)は成ま数1~5のアルキル悪を示す。)で表わられる化合物を有効成分として含有することを特徴とする教虫数ダニ及び豊富な用权関係。

(2) Biがフェニル等又は危換フェニルまである 表許請求の範囲第1項記載の殺虫数アニ及び会 Bit の数類類の

(3) 世換フェエル差が堪念及び又はメテル差で

億換されたフェニル基である特許請求の範囲取 2 項配載の減虫数チニ及び食頭英用数質期。 (4) Raが炭素数 2 又は 3 のアルキル差である特許 調水の範囲策 3 項配数の救虫数チニ及び食地英 用殺菌剤。

(5) 有劲政分が式

て扱わされる化合物である特許請求の範囲第4 項記象の役虫校/エ及び長間芸用数割剤。

(6) 有効成分が式

で扱わされる化合物である特許湖水の範囲係 4 項配組の数虫数グニ及び数調整用数関剤。

(7) 有効成分が式

て扱わされる化合物である特許技术の範囲第4 項配収の収虫型グニ及び魚園芸用役型剤。 े हैं। - अंध्रे

物が得られる。必要ならは適当な有機不僅から得 部品して時齢やな本発明化合物を得る。構造は元 ま分析、 IR、FMR、MASS 等の分析起果から失足し た。

ただ合成例をおけて本発明に扱る有効成分化合 物の製造法について同に難しく説明する。

台欧例1 (化合物指号18)

n - プロセル・4 - ( o - トリル) - 1 · 3 · ジチボアロハネート 5 g、ピリジン 3 g 及びペンセン 100 ㎡の最合物を氷水で博却しながら提押したがら提供したがない。 4 · 7 gのペンセン総数 200 ㎡を関下した。 毎 政 した不移物を譲渡して除き、ペンセンを留去し及送をリグロインから 5 所出して食色部品の 5 - ューナロピルオキシー 3 ~ ( o - トリルイミノ) ・ 3 日 ~ 1 · 2 · 4 - ジチアゾール 3 ㎡ を 4 た 。 3 数で 5 に 7 が 1 · 6 · 2 · 5 。 1 · 6 · 2 · 5 。 1 · 6 · 2 · 5 。 1 · 6 · 2 · 5 。

合政例2(化合物署号2)

エテルー4 - ( 4 - クロロフエニル ) - 1.3 -ジチオフロハネート 19.2g、ピリジン11 8 を 200≠ •

特別で53-11 3024(3) のペンヤンにお解し、金銭で決案 17.7g を 300± のペンセンにお解して施下した。 3 時間を送て発 伴した後、折出したピリピンヨウ化水大寒域を確 逃し、ペンセンを証正で管金し、残道をリグマイ ンから再始品すると 11.5g の 8 的化合物( 契色根 水ム)が得られた。 数点 105 ~ 107 で 。

仓成贸3(化合伊西号14)

エチル・4・(4・クセロ・2・メチルフエニル)・1.3・ツチェオロハネート 5.8 g、ピリツ/元にン3.2 gを100 = のペンセンに密解し、5~10 でに合助して妖衆 5.1 gを100 = のペンセンに解解して満下した。1時間密退で提择した後所出したピリッショク化水素破塩を譲渡し、ペンセンを挟圧で母去し、安議をエタノールから行為品すると4.3 gの目的化合物(黄色智品)が持られた。厳な118~120 で。

台成例4(化合物委号8)

イソプロピル4-(4-クロロフエニル)・ 1.3・ジテオフロハネート7g、ピリジン 3.8 g を60ml のベンセン応答解し、5~10でに冷却して

-14

ョウ系 6.1 g を 100 × のペンセンに割無して適下 した。 1 時間宝備で根押した後、析出したビリジンコウ化水条便等を確適し、ペンゼンを滅圧で質 去し、乗後をエタノールから再結晶すると 5 g の 目的化合物(黄色館品)が得られた。 飲点 93 ~

新工芸に本発明に係る有効成分化合物の代表例 とその物理定数を示す。

汉 1 表

化合物带号	R1	R2	物理定数 〔股点〕で
1	0	C2 B5	(112~3)
2	52 <b>\</b>	O2 H5	(105~7)
B-		C <sub>2</sub> H <sub>3</sub> .	[ 15~9)

4		νc⁴π <sup>à</sup>	( 46~8)
5	Quantum l	OZRS	[13 <b>1-3]</b>
6	оя 5 Сна она - сна	C <sub>2</sub> H <sub>3</sub>	(17 <b>0~1)</b>
7	$\bigcirc$	102H,	AD 1.6425
8	مر در	C <sup>AB<sup>e</sup></sup>	(112~8)
9	c4-{\right}	103H7	[ 93~4]
10	ce-O-	BC,Eo	[ 60 <b>~</b> 1]
11	دد	CB <sub>5</sub>	( 82~3)
12	Сн2-	С <sub>2</sub> В <sub>5</sub>	(122~3)
13	(2)	O <sub>2</sub> E <sub>S</sub>	( 95 <b>~</b> 6)

15:34

											4	Ŧμ	l Pe	153	- 1	1	•
_	2	_	*	ie	•	<b>#</b>	75	rc	-	_	Ŧ	106	-	n	#X	æ	F

100 ≸	##
8 <b>0~-9</b> 9 <b>%</b>	#
50-79≸	+

股戶二有効從衡≈	無処理区成虫完成数	×100

杖敵例え ナミハダニに対する効力

2 寸鉢に構造したイングンの角部級 7 ~10 日紙 当した明1本装上に、有破りと刑抵抗性のナミハ ぎょの難应皮を30頭接触したのち、粒影発施例に 示された水和剤の処方に従つて調度された本発明 要割を、有効成分進度が 62.5 PP= になるように水 Jenny て希釈して散ねした。散布3日後に収曳事を求め るとともに成虫を飲去し、この3日間に発下され た卵に関し、区虫まで発育し得たか奇かを188 に調査し放すニ有効度を求めた。 結果は次の迫り てちつた。

4	L.	l '"
3	+	##
4	-	<del>m</del>
5	<del>(1)</del>	##
7	_	#
8	_	##
9	##	##
10 .	+	+11
11	_	#
14	<del> </del> #	+41
15	##	#
1.6	<del>!!!</del>	#
17	+	#
t8	<del>II.</del>	#
19	##	167
20	<del>#</del>	##
21	44	+#
. テテオン	_	#

化合物番号 3日後投虫巫の評価※ 及ぎニギ効度の評価当

化合物设置	3日後駅東本の評価等	松戸二有効皮の評価量	
1	##	Ħ	
2	<b>!!!</b>	#!	
9	+	#	
ទ	<del>111</del>	***	
8	-	<del>lit</del>	
9	. #	<del>≡</del> .	
10	_	# .	
14	<del>(11</del>	##	
15	-	#	
***	₩	#	

ζ

※3月後数虫力の評価及び投ぎ=省効度の評価 は状態例1に同じてある。

武城何玉 ミカンハメニに対する効力

旗位9 cm のシャーレにミカン猟をのせ、ミカ ンハグニ雄屈虫を辺頭投資した。 型の岩圏に仕成 虫が逃げないようにメングルをむつた。1日後に 伤势攻交流者,本能明の有效成分化合物で、前眼 📑 になるように水で冷釈して、1シャーレ当りSョ

を散布した。教布3日後に殺虫串を求めるととも に収虫を除去し、その間に差下された卵に関して 幼虫が与化し得たか否かな7日後に調査し程即亦 を求めた。終失は次の通りであつた。

u.

化合物番号	3 日後段虫薬の評価素	教卵阜の評価を
1	+	#
ż	#	##
5	#	+
9	#	##
#12.002	+	#

後3日後殺虫事及び疫卵半の野価

100 ≸ 80~99\$ 50~79≴

武器例4. テカイエカに対する約刀

本免明者効应分化合物を前配実初切の乳剤の処 災災的の見用の処方に従い化合物達置が 500至4mg jam 万に従い、水で3 ffm になるように希釈し、200 Jana : ピヒーカー作 150 ピ入れた。その中へナカイエカ

14/09/01

15:34

Pg: 6

キャアタン	200	100	
	100	90	
	59	87	•

キャプタン: N - トリクロルメテルテオテトラヒドロフタルイミド

取成例 7. キュクリラどんと初防除関策 本発明の水和羽の所足改成の実数を、絆框をの キュクリ(品種「サツキミドリ」)の幼育に数布 し、風乾させたのち、うどんと雰囲(Ophaorotheca dullginoa )を光磁し、劣で前様の復更に置き、 10日頃に受病を観光し、無処態対照区の発病配を 雰珠にして防除価を集出した。その紛失を下後に 示す。

化合物包含	有物配分改定 665	防旅価多	<b>光 档</b>	: ہے:
1.	200	100	カレ	
	100	100		
z. `	200	100	なし	
	100	90		

	〒岡昭53−113024(7)					
5	200	100	をし			
	100	95	•			
<b>2</b> 2	200	100	まし			
_	100	100	•			
モレスタン	200	100	なし			
	100	85	•			
	<b>2</b> 2	100 22 200 100 セレスタン 200	5 200 100 100 95 22 200 100 100 100 モレスタン 200 100			

モレスタン: 6 - メテルセノキサリン - 2 . 3 - ジデオ カードネート

出 敬 人 日本省港级式会社

17. 鬼人 多 番 岬 之